

使用上の注意

■ 柱はぶっつけないように。また、倒してけがをしないように注意して取り付けてください。

■ 柱が長すぎて鴨居と敷居に入らない時は、柱とジャッキを止めている金具にマイナスドライバーを差し込み、クギを起こし、ぬきとりジャッキをはずします。そして(図6)のようにのこぎりで柱をつめ、またクギでとめます。

■ 4枚戸で柱が見えて困る人は、(図7)の様に、ミゾの一方を切断する方法で柱を入れる方法もあります。この方法は鴨居に対して半分しか押さえの力がかりませんので、よほどの事でないかぎりおすすりできません。

■ 敷居がかしがっている場合は、ひくい方に段ボール又は厚紙をはさめて、台座が水平になる様にして下さい。(図5)

■ 柱がたおれるのを防ぐために、かならず(図8)のようにヒートンを柱と鴨居に止め、ひもで結んで下さい。

図5

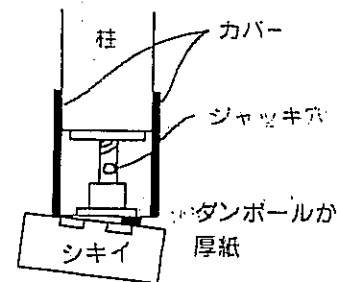


図6

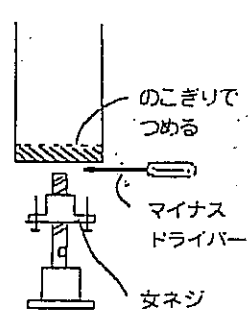


図8

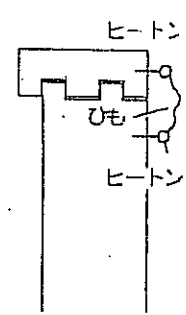
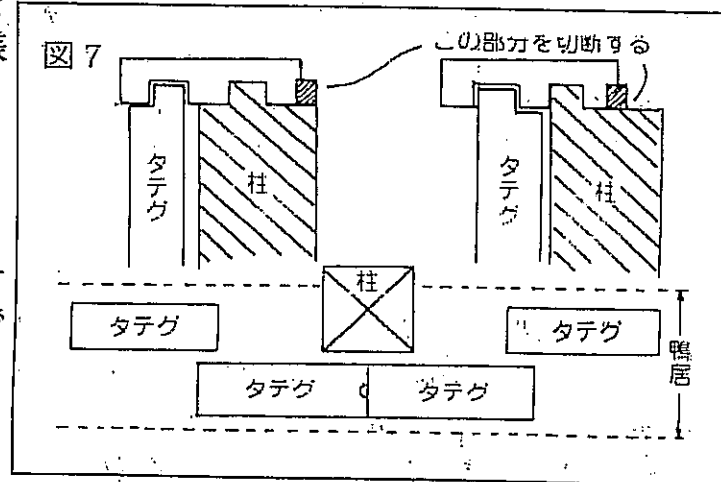


図7



ワンタッチ補助柱 取り扱い説明書

このたびは「ワンタッチ補助柱」をお買いあげいただきまして誠にありがとうございました。ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、未長くとご愛用くださいますようお願い申し上げます。

取付方法

① 建具が締まっいて動かない時は(図1)のようにし、ジャッキの穴にジャッキ棒を入れ、建具が動くまでジャッキを廻します。

② 戸があきましたら、建具の表と、柱の表を合わせ(図2参照)、つりづかの真中に(図3)のように柱をたて、鴨居のミゾに柱を入れ、止まるまでジャッキを廻して下さい。

③ 軽くジャッキがききましたら手を離し、ジャッキ棒を抜き、柱を中心に左右の建具を柱につけ、両方の建具のすき間が平らになる様に柱を調節します。

④ 位置が決まりましたら、ジャッキの穴にジャッキ棒を入れ、建具が楽に動くまでジャッキを廻します。終わりましたらジャッキ棒を抜いて大切に保管して下さい。

⑤ セットしましたらジャッキを隠すカバーを下げ、ジャッキを見えなくして完成です。

図1

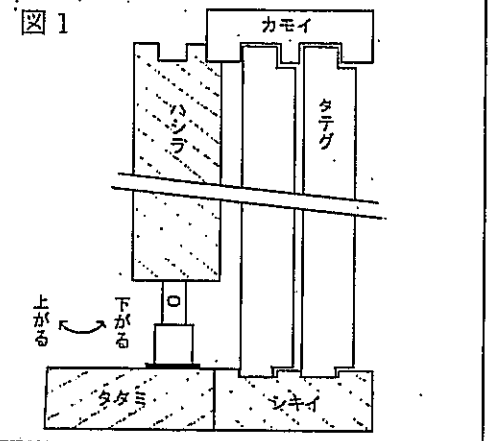


図2

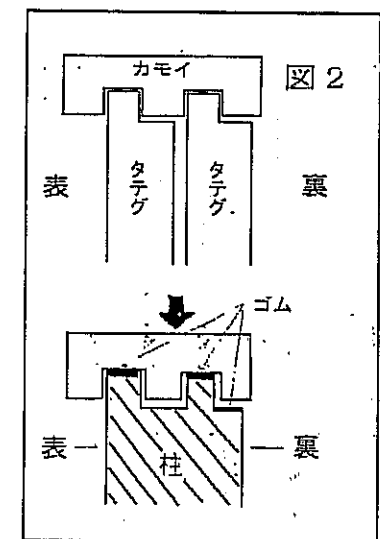


図3

